

現在ほど、物流が社会全体で注目されたことはこれまでなかったのではないのでしょうか。物流2024年問題によって、物流供給がひっ迫するという情報が、マスコミ等で多く報道され、さらに政府も規制的措置を導入した改正物流効率化法施行に向けて議論をしています。2024年問題はあくまできっかけであり、今後中長期的にドライバー不足、物流供給制約が大きな問題となっていくことは間違いありません。

このような状況のなか、荷主企業側の業界団体、各企業においても様々な対応が進んでいます。『物流問題研究76号(2025年春)』のテーマは、「各業界が取り組む物流改革・製造業」といたしました。座談会では、製造業のなかでも比較的検討が進んでいる鉄鋼、化学品、製紙業界の方をお招きし、各業界での物流改革の取組状況、さらに改革の難しさ、課題等についてお話ししていただきました。特集論文では、鉄鋼、化学品に加えて、繊維、ガラスびん業界の物流改革に関する論文を掲載いたしました。

『物流問題研究』においては、新しいテーマに取り組み、今後も積極的に社会に発信していきたいと考えております。特集論文、一般論文について、奮って投稿していただきますようよろしくお願いいたします。

『物流問題研究』の内容はホームページ(<https://log-innovation.rku.ac.jp/laboratory/>)にも掲載されています。



QRコードからの閲覧

2025年3月 洪 京和

本誌に関する問い合わせ先
logistics@rku.ac.jp

本号は、文部科学省私立大学研究ブランディング事業「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成」の一環として発行しています。